

交流抵抗の JCSS 校正

校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 主な定格・仕様

定格	端子構造
100 kΩ、10 kΩ、1 kΩ、100 Ω、10 Ω※ ¹	4端子対※ ²

※¹ 位相角については、被校正品の位相角の大きさが0.001 rad 未満に限ります。

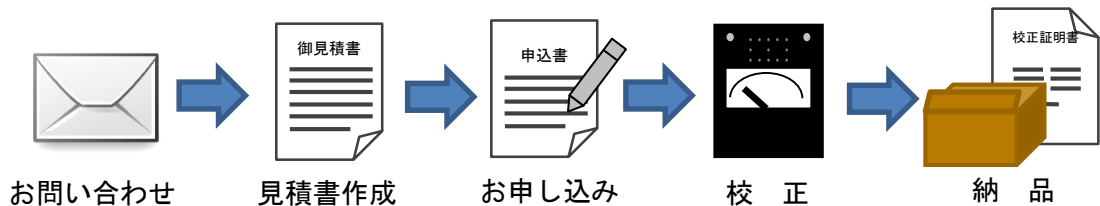
※² 同軸端子を有した抵抗器

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

校正範囲		校正の不確かさ ($k = 2$)	
		交流抵抗	位相角
1 kHz	100 kΩ	0.003 %	5×10^{-5} rad
	10 kΩ	0.003 %	3×10^{-5} rad
	1 kΩ	0.003 %	3×10^{-5} rad
	100 Ω	0.003 %	3×10^{-5} rad
	10 Ω	0.007 %	5×10^{-5} rad

端子構造、交流抵抗・位相角の値によっては、校正できない場合があります。
校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

■ 校正のご利用方法



日本電気計器検定所 標準部 校正サービスグループ

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目15番7号

TEL : 03-3451-6762 FAX : 03-3451-1497

E-Mail : kousei-info@jemic.go.jp

URL : <https://www.jemic.go.jp>